

心に残る文化財子ども塾 出雲市立湖陵小学校

1. 活動の概要

5月25日(木)、出雲市立湖陵小学校で、『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに埋蔵文化財調査センターの職員から、湖陵小学校周辺に遺跡がどれだけあるのか、どんな種類の遺跡・古墳があるのか話を聞きました。遺跡の位置を示した特大の地図や写真パネルを見ながら学習しました。湖陵地区には、縄文時代から古代の集落跡があり、出雲湖陵道路建設に伴って発掘された湖陵地区の遺跡から出土した土器や矢じり、県内から出土した縄文土器、弥生土器、古代の土器の現物を見ながら説明を受け、当時の人々の暮らしや土器について学びました。

次に、勾玉について、説明を受けました。松江市の玉造地区に玉作遺跡が集中し、弥生時代には出雲市の古志本郷遺跡でも玉を作っていることを聞くと、児童たちはびっくりしていました。続けて、勾玉の作り方の説明を受けて、勾玉作り挑戦しました。作業は思ったより難しく、思うような形に整えるのに児童達は苦勞していました。予定の終了時間が迫る中、体に削りかすをつけながら勾玉の形にし、表面を磨きました。最後まで熱心に勾玉作りに取り組むことができました。

最後に、勾玉作りの難しさを実感しながら、友達と一緒に体験ができた喜びを噛みしめていました。

授業を終えた児童たちは、ふるさとの歴史や身近にある遺跡への興味が高まった様子でした。

2. 活動の様子

1)古代の土器について学ぶ



古代の人はこんな土器を使っていた!!

2)勾玉作りについて学ぶ



静かに説明を聞いています!

3)古代体験活動～勾玉作り～



大きさはこれくらいかな?



削ったり、磨いたり、なかなか思った形にならないな。

3. 子ども塾を終えて

1)子ども達から…

- ・勾玉以外の玉(切子玉)や土器をつくってみたい。
- ・昔の人は時間をかけて作業をやっていたことがわかった。
- ・友達と協力しながらできた。
- ・昔の人のように形がきれいにできなかった。
- ・縄文土器や弥生土器、古墳時代の土器以外の器を見てみたい。
- ・湖陵町の遺跡を見てみたい。
- ・矢じりが小さく驚いた。
- ・昔の人の苦勞がわかった。自分だけのオリジナルができてよかった。
- ・勾玉を家族と作ってみたい。

2)担任の先生から…

- ・身近な古墳や遺跡を知ることができた。
- ・地元で発掘されたものを見たり、触ったりできるのがよい。
- ・実物に触れ、体験できる、考えることができる、実験できると児童の関心がより深まると思います。

3)埋文センターから

普段の授業では自分たちの住む地域の歴史について知る機会は少ないと思います。今回の出前授業で、住んでいる地域には、遺跡がたくさんあることを知り、地域や歴史に対する興味や意欲が高まった様子がアンケート結果からも伝わってきました。

また、勾玉作り体験では、勾玉の形に仕上げる作業が難しかったようですが、児童たちは最後まで集中して取り組んでいました。簡単そうに見えてかなり時間がかかる難易度の高い作業でしたが、体験をとおして古代人の技術や苦勞などに思いをはせている様子でした。

これからも自分で調べたり大人に聞いたりしながら、自分達の住む地域の歴史に関心や誇りを持ち続けてほしいと思います。